

# 平成22年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名		埼玉県		市町村類型		- 3		指定団体等の指定状況		区分		平成22年度(千円)		平成21年度(千円)		区分		平成22年度(千円・%)		平成21年度(千円・%)																	
市町村名		狭山市		地方交付税種地		2 8		財政健全化等		×		歳入総額		48,165,561		54,524,069		実質収支比率		11.8		6.8															
								財政健全化等		×		歳出総額		44,633,917		52,405,475		経常収支比率		85.1		95.6															
								財源超過		×		歳入歳出差引		3,531,644		2,118,594		( 1 )		( 102.7 )																	
								首都		×		翌年度に繰越すべき財源		335,080		179,066		標準財政規模		27,155,124		28,390,614															
								近畿		×		実質収支		3,196,564		1,939,528		財力指数		1.03		1.12															
人口		22年国調(人)		155,727		産業構造		中部		×		単年度収支		1,257,036		609,752		公債費負担比率		10.3		11.6															
		17年国調(人)		158,074		区分		過疎		×		積立金		2,826,298		1,386,040		健全化判断比率																			
		増減率(%)		-4.5		17年国調		山振		×		繰上償還金						実質赤字比率																			
住民基本台帳人口		23.03.31(人)		154,946		第1次		1,442		1,603		積立金取崩し額		1,734,270		3,782,135		連結実質赤字比率																			
		22.03.31(人)		155,386				1.8		1.9		実質単年度収支		2,349,064		-3,005,847		実質公債費比率		5.8		6.0															
		増減率(%)		-0.3		第2次		22,227		25,475		基準財政収入額		17,269,294		20,492,817		将来負担比率		5.7		17.7															
面積(km <sup>2</sup> )		49.04				第3次		28.2		30.9		基準財政需要額		19,018,417		19,524,969		資金不足比率( 3 )																			
人口密度(人/km <sup>2</sup> )		3,176						53,632		54,322		標準税収入額等		22,253,961		26,536,436																					
世帯数(世帯)		61,039						68.1		65.9		経常経費充当一般財源等		25,428,807		25,727,741																					
												歳入一般財源等		36,351,217		36,868,258																					
												地方債現在高		35,219,635		34,510,385																					
												うち公的資金		27,266,912		26,790,507																					
												債務負担行為額(支出予定額)		18,988,973		21,166,967																					
												収益事業収入		60,000		80,000																					
												土地開発基金現在高		2,077,697		2,876,965																					
												積立金		4,605,806		3,513,778																					
												現在高		5,341,714		6,190,262																					
												財政調整基金																									
												減債基金																									
												その他特定目的基金																									
												ラスバイレス指数		100.2																							
特別職等		区分		定数		1人あたり平均給料月額(百円)		区分		職員数(人)		給料月額(百円)		1人あたり平均給料月額(百円)																							
		市区町村長		1		9,700		一般職員		971		3,382,964		3,484																							
		副市区町村長		1		8,150		うち消防職員		170		555,390		3,267																							
		収入役		-		-		うち技能労務職員		63		227,619		3,613																							
		教育長		1		7,500		教育公務員		29		112,951		3,895																							
		議会議長		1		5,100		臨時職員		-		-		-																							
		議会副議長		1		4,600		合計		1,000		3,495,915		3,496																							
		議会議員		20		4,400		ラスバイレス指数				100.2																									
一般会計等の一覧		項番		会計名		事業会計の一覧		項番		会計名		公営企業(法適)の一覧		項番		会計名		公営企業(法非適)の一覧		項番		会計名		関係する一部事務組合等一覧		項番		組合等名		地方公社・第三セクター等一覧		項番		団体名		( 2 )	
		(1) 一般会計				(4) 国民健康保険特別会計				(8) 水道事業会計				(9) 下水道事業特別会計				(10) 埼玉県後期高齢者医療広域連合				(18) 狭山市土地開発公社				(11) 埼玉県後期高齢者医療広域連合				(19) 財団法人狭山市施設管理公社							
		(2) 上広瀬土地区画整理事業特別会計				(5) 老人保健特別会計												(12) 埼玉市町村総合事務組合				(20) 狭山ケーブルテレビ株式会社				(13) 埼玉市町村総合事務組合				(21) 財団法人狭山市勤労者福祉サービスセンター							
		(3) 狭山市駅東口土地区画整理事業特別会計				(6) 介護保険特別会計												(14) 彩の国さいたまづくり広域連合								(15) 埼玉県都市競艇組合											
						(7) 後期高齢者医療特別会計												(16) 埼玉西部広域事務組合								(17) 埼玉西部広域事務組合											

(注釈)  
 1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 2: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に 印を付与している。  
 3: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比
地方税	22,833,903	47.4	21,805,186	81.6
地方譲与税	364,852	0.8	364,852	1.4
利子割交付金	69,488	0.1	69,488	0.3
配当割交付金	37,315	0.1	37,315	0.1
株式等譲渡所得割交付金	12,519	0.0	12,519	0.0
地方消費税交付金	1,424,402	3.0	1,424,402	5.3
ゴルフ場利用税交付金	38,070	0.1	38,070	0.1
特別地方消費税交付金	-	-	-	-
自動車取得税交付金	140,525	0.3	140,525	0.5
軽油引取税交付金	-	-	-	-
地方特例交付金	265,858	0.6	265,858	1.0
児童手当及び子ども手当特例交付金	125,730	0.3	125,730	0.5
減収補填特例交付金	140,128	0.3	140,128	0.5
地方交付税	2,006,545	4.2	1,749,123	6.5
普通交付税	1,749,123	3.6	1,749,123	6.5
特別交付税	257,422	0.5	-	-
(一般財源計)	27,193,477	56.5	25,907,338	96.9
交通安全対策特別交付金	25,291	0.1	25,291	0.1
分担金・負担金	255,184	0.5	-	-
使用料	768,057	1.6	123,082	0.5
手数料	248,540	0.5	-	-
国庫支出金	5,699,211	11.8	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	671,322	1.4	671,322	2.5
都道府県支出金	2,097,889	4.4	-	-
財産収入	286,869	0.6	-	-
寄附金	9,392	0.0	-	-
繰入金	3,898,732	8.1	-	-
繰越金	2,118,594	4.4	-	-
諸収入	895,863	1.9	2,757	0.0
地方債	3,997,140	8.3	-	-
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-
うち臨時財政対策債	3,152,040	6.5	-	-
歳入合計	48,165,561	100.0	26,729,790	100.0

地方税の状況(単位 千円・%)				
区分	収入済額	構成比	超過課税分	
普通税	21,805,186	95.5	-	-
法定普通税	21,805,186	95.5	-	-
市町村民税	11,043,028	48.4	-	-
個人均等割	231,522	1.0	-	-
所得割	8,715,185	38.2	-	-
法人均等割	370,923	1.6	-	-
法人税割	1,725,398	7.6	-	-
固定資産税	9,729,804	42.6	-	-
うち純固定資産税	9,707,351	42.5	-	-
軽自動車税	170,767	0.7	-	-
市町村たばこ税	861,587	3.8	-	-
鉱産税	-	-	-	-
特別土地保有税	-	-	-	-
法定外普通税	-	-	-	-
目的税	1,028,717	4.5	-	-
法定目的税	1,028,717	4.5	-	-
入湯税	-	-	-	-
事業所税	-	-	-	-
都市計画税	1,028,717	4.5	-	-
水利地益税等	-	-	-	-
法定外目的税	-	-	-	-
旧法による税	-	-	-	-
合計	22,833,903	100.0	-	-

区分	平成22年度	平成21年度		
徴収率(%)	98.2	92.8	97.8	92.4
現・計	97.7	91.0	97.0	90.8
市町村民税	98.6	94.3	98.4	93.7
純固定資産税				

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	4,464,206	実質収支	912,048
下水道	834,807	再差引収支	-191,524
上水道	34,131	加入世帯数(世帯)	25,717
工業用水道	-	被保険者数(人)	46,423
交通	-	被保険者1人当り	80
国民健康保険	1,345,792	保険税(料)収入額	69
その他	2,249,476	国庫支出金	234
		保険給付費	

歳出の状況(単位 千円・%)				
目的別歳出の状況(単位 千円・%)				
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	307,108	0.7	-	307,108
総務費	9,020,524	20.2	933,408	7,636,602
民生費	14,896,197	33.4	270,748	8,495,138
衛生費	3,603,604	8.1	196,802	3,195,542
労働費	313,157	0.7	11,319	138,480
農林水産業費	173,979	0.4	7,177	163,305
商工費	647,968	1.5	5,681	347,498
土木費	5,124,298	11.5	2,463,684	3,302,253
消防費	1,678,311	3.8	67,917	1,652,382
教育費	5,049,144	11.3	1,325,687	3,837,568
災害復旧費	-	-	-	-
公債費	3,819,627	8.6	-	3,743,697
請支費	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	44,633,917	100.0	5,282,423	32,819,573

性質別歳出の状況(単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	22,774,681	51.0	16,473,498	16,397,279	54.9
人件費	10,101,245	22.6	9,635,803	9,563,305	32.0
うち職員給	6,982,245	15.6	6,581,085	-	-
扶助費	8,853,809	19.8	3,093,998	3,090,277	10.3
公債費	3,819,627	8.6	3,743,697	3,743,697	12.5
内 元利償還金	3,819,627	8.6	3,743,697	3,743,697	12.5
内 一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	16,576,813	37.1	14,522,617	9,031,528	30.2
物件費	6,962,455	15.6	5,823,394	5,058,581	16.9
維持補修費	176,570	0.4	159,519	159,519	0.5
補助費等	1,404,501	3.1	1,226,965	1,049,702	3.5
うち一部事務組合負担金	42,679	0.1	38,686	38,686	0.1
繰出金	4,430,075	9.9	4,185,707	2,759,790	9.2
積立金	3,141,935	7.0	3,123,096	-	-
投資・出資金・貸付金	461,277	1.0	3,936	3,936	0.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	5,282,423	11.8	1,823,458	-	-
うち人件費	204,837	0.5	204,837	-	-
普通建設事業費	5,282,423	11.8	1,823,458	-	-
うち補助	1,198,203	2.7	145,802	-	-
うち単独	4,084,220	9.2	1,677,656	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	44,633,917	100.0	32,819,573	-	-

(注釈)  
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

平成22年度 埼玉県熊谷市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	48,086	44,592	3,494	3,159	3,917	34,381	
2 上広瀬土地区画整理事業特別会計	162	162	0	-	144	136	
3 熊谷市駅東口土地区画整理事業特別会計	601	564	38	38	468	691	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							

# (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

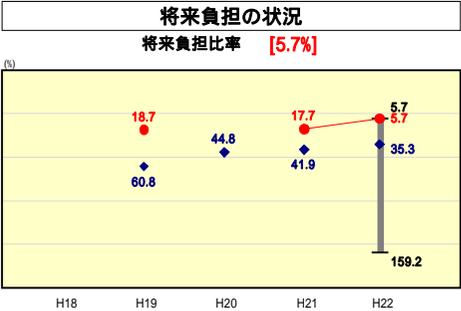
平成22年度

埼玉県狭山市

人口	154,946	人(H23.3.31 現在)							
面積	49.04	k m <sup>2</sup>							
総額	48,165,561	千円	実質公債費比率	5.8%					
収入	44,633,917	千円	実質公債費比率	5.7%					
支出	3,196,564	千円	赤字比率	-					
標準財政規模	27,155,124	千円	市町村類型	H18 -3 H19 -3 H20 -3 H21 -3 H22 -3					
地方債現在高	35,219,635	千円	(年度毎)						

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

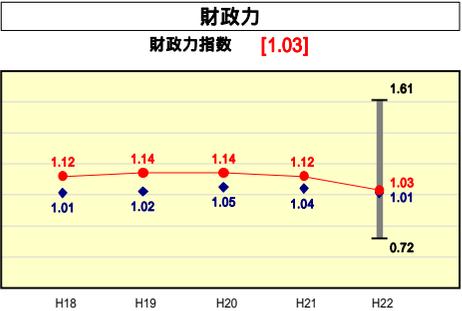
市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく(実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない)団体については、グラフを表記しない。充てん可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。類似団体内平均値は、充てん可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。'人件費・物件費等の状況'の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



類似団体内順位 8/29 全国平均 79.7 埼玉県平均 61.0

**将来負担比率の分析欄**

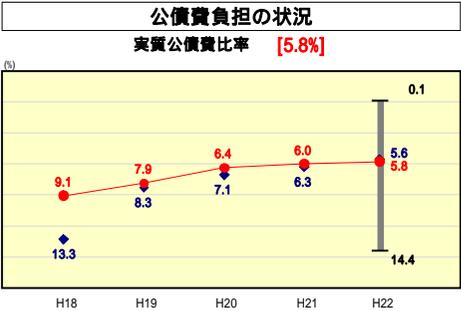
前年度より12.0%減少し5.7%となり、依然として類似団体平均を大きく下回っている。主な要因は、債務負担行為に基づく支出予定額の減少、財政調整基金の積立による充てん可能基金の確保などがあげられる。今後は大規模事業に係る起債の償還開始に伴う比率の上昇が予想されることから、後世への負担を少しでも軽減するよう、適切な財政運営に努める。



類似団体内順位 10/29 全国平均 0.53 埼玉県平均 0.83

**財政力指数の分析欄**

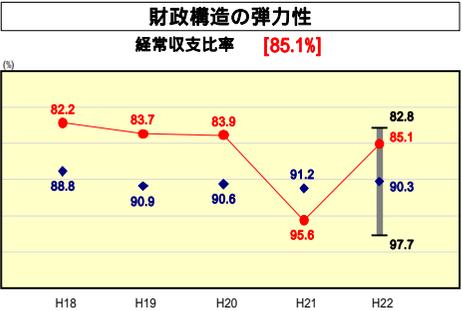
長引く経済不況の影響を受けながらも、市税収入は前年度と比較しほぼ横ばいとなり、財政力指数としては低下傾向にあるが、類似団体の平均を上回る1.03となった。引き続き景気低迷による減収が見込まれるが、市税徴収の強化、企業立地の促進などによる歳入確保に努めるとともに、人件費、扶助費、公債費などの経常的経費の一層の節減に取り組み、更なる財政基盤の強化を図る。



類似団体内順位 14/29 全国平均 10.5 埼玉県平均 8.2

**実質公債費比率の分析欄**

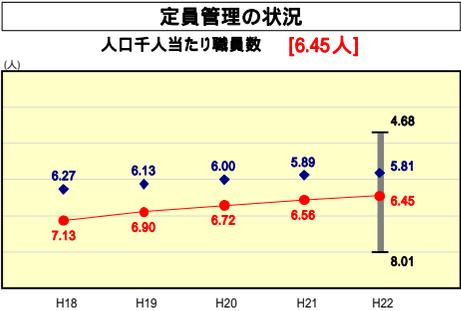
起債対象事業の適切な選択の結果、前年度より0.2%減少し5.8%となり、類似団体平均とほぼ同水準となっている。今後は、大規模事業に係る新規借入が見込まれるが、引き続き世代間負担の公平化と償還額の平準化を図り、比率の急激な上昇を抑制するため、財政の健全性を確保する。



類似団体内順位 4/29 全国平均 89.2 埼玉県平均 87.8

**経常収支比率の分析欄**

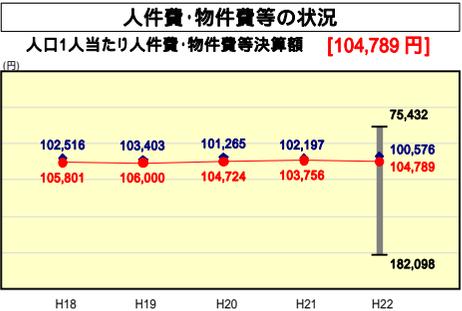
前年度より10.5%減少し、類似団体平均を下回る85.1%となった。減少の要因は、人件費や公債費の減少や、普通交付税の増等によるものである。今後は事業の見直し、特別会計繰出金の抑制、事業の選択と集中による経費の削減を図り、比率の維持に努めていく。



類似団体内順位 22/29 全国平均 7.24 埼玉県平均 6.05

**人口千人当たり職員数の分析欄**

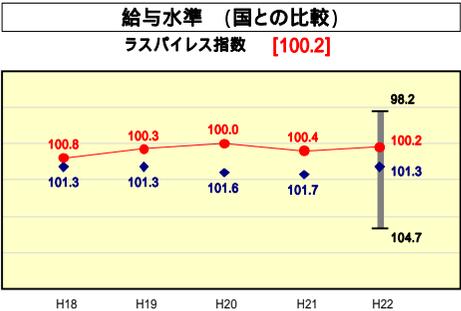
定員適正化計画に基づき、新規採用を抑制したほか、短時間勤務再任用職員の活用、行政評価による事務事業の見直し、民間活力の導入等を進めたことにより、過去5年間で、普通会計部門における職員数を119人(10.6%)削減したが、幼稚園や消防への職員の配置、ソフト及びハード両面のまちづくり施策の積極的な展開等により、類似団体平均を依然として上回っている状況である。このことから、引き続き、事務事業の見直しや業務の効率化、民間活力の導入、ITの活用、再任用職員の有効活用、職員の能力開発等の推進により、平成23年度から27年度までの5年間で100人を削減することを目指し、さらなる定員管理の適正化に努める。



類似団体内順位 20/29 全国平均 114,985 埼玉県平均 96,438

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**

光熱水費等の増加により物件費が上昇し、類似団体平均を上回る104,789円となったが、全国平均と比較すると数値は下回っている。今後はさらに施設の統廃合、指定管理者制度の効果的な活用、人件費の抑制などにより行政コストの削減に努める。



類似団体内順位 7/29 全国市平均 98.8 全国町村平均 95.3

**ラスパイレス指数の分析欄**

本年度の数値は100.2であり、過去5年間も人事院勧告に準拠した給与制度とすることで、国と同水準で推移している。また、類似団体との比較では、約1ポイント低い数値で推移している。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

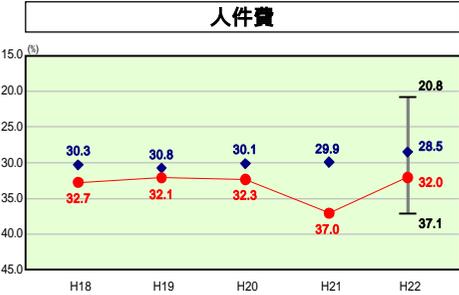
埼玉県狭山市

## 経常収支比率の分析

人口	154,946	人(H23.3.31 現在)							
面積	49.04	km <sup>2</sup>							
総収入	48,165,561	千円	実績	実績	赤字	赤字	比率	-	%
経常収入	44,633,917	千円	実績	実績	赤字	赤字	比率	-	%
標準財政収支	3,196,564	千円	実績	実績	赤字	赤字	比率	5.8	%
標準財政収支	27,155,124	千円	実績	実績	赤字	赤字	比率	5.7	%
標準財政収支	35,219,636	千円	実績	実績	赤字	赤字	比率		



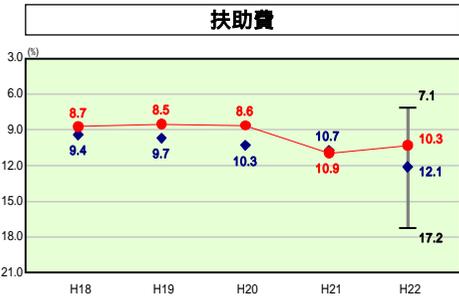
市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



#### 人件費の分析欄

人件費決算額については前年度より279,450千円、人口1人当たりでは1,614円の減となっている。主な要因は職員数の減に伴う職員給の減、期末勤労手当の支給月数のマイナス等である。

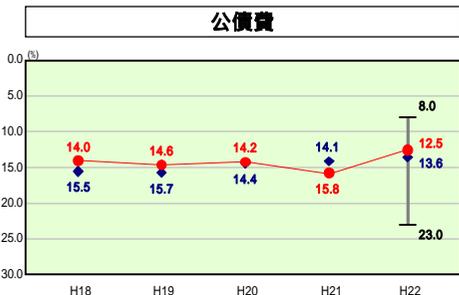
対して人件費に係る経常収支比率は、前年度より5.0%減少し32.0%となっており、これは経常収支比率(合計)の減少に伴うもので、前年度と比較し人件費の決算額が減額となったことにより、人件費の占める割合も小さくなったためである。



#### 扶助費の分析欄

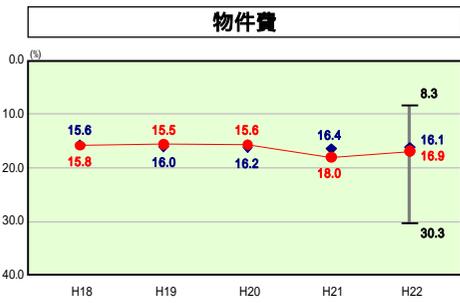
扶助費に係る経常収支比率は、前年度より0.6%減少し、10.3%となっており、類似団体平均を下回っている。老人福祉費及び児童福祉費、災害救助費に係る市単独事業の充実という面があったが、各事業の見直しや効率的な運営を図ったため、数年前より比率が下降傾向にある。

今後についてもこれらの支援をしていながら、引き続き効率的な財政運営に努める。



#### 公債費の分析欄

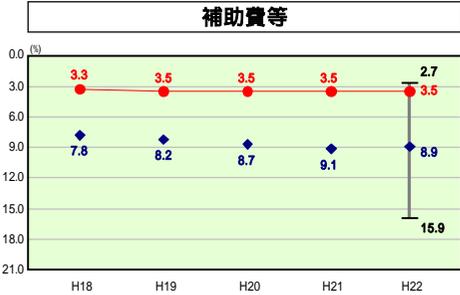
公債費に係る経常収支比率は、前年度より3.3%減少し12.5%で、類似団体平均を下回っている。これは、償還の完済に伴い公債費が減少したことによるものであるが、今後、大規模事業に係る償還開始や新規借入に伴い平成28年度から33年度までの6年間でピークと見込まれることから、これまで以上に行政改革に取り組み、効率的な財政運営に努める。



#### 物件費の分析欄

物件費に係る経常収支比率は、前年度より1.1%減少し16.9%となっており、類似団体平均を若干上回っており、全国市町村平均の12.8%と比べても高い水準となっている。指定管理料や光熱水費の増加が主な要因である。

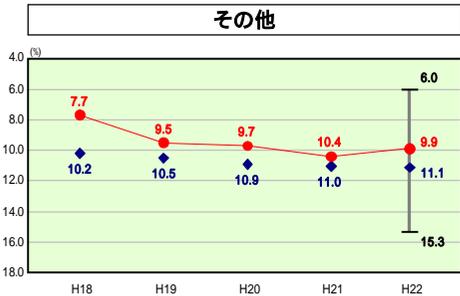
今後は施設の統廃合を進めるとともに、引き続き指定管理者制度導入の検討、民間活力の導入等により経常的経費の削減に努める。なお、こみの減量化やリサイクルの推進を図っているため、衛生費の委託料が類似団体と比較すると高額となっていることも、比率を高くしている要因の一つである。



#### 補助費等の分析欄

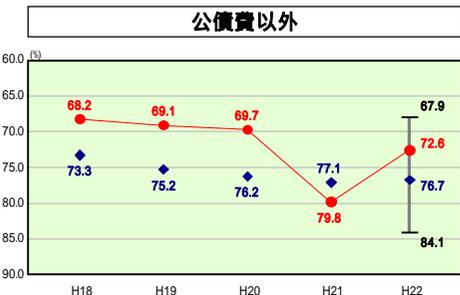
補助費等に係る経常収支比率は、過去より継続して類似団体平均を大きく下回っている。

各種団体への補助金について見直しを行っており、不適当な補助金については減額や廃止を行っていることが主な要因である。



#### その他の分析欄

その他に係る経常収支比率は、前年度より0.5%減少し、類似団体平均を下回っている。後期高齢者医療事業会計、老人保険医療事業会計等の公営企業会計への繰出金が前年度と比較し増加したものの、経常収支比率(合計)の減少に伴い、その他の占める割合も小さくなったものである。今後については税収を主な財源とする普通会計の負担額を減らしていくよう努める。



#### 公債費以外の分析欄

公債費以外については、全国市町村平均の70.2%を上回っているが、類似団体平均より4.1%下回っており、前年度と比較しても7.2%減少している。

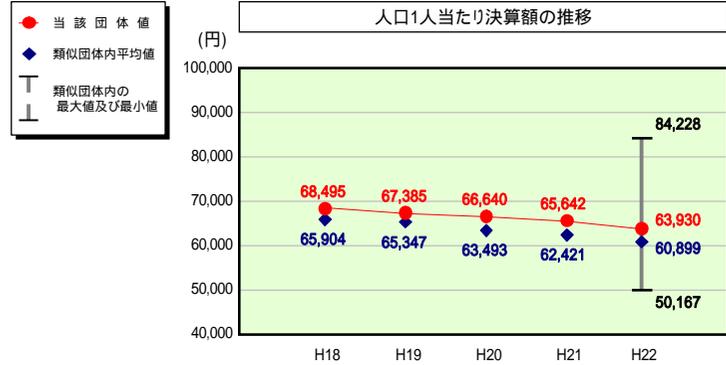
今後については各事業の見直しや効率的な運営を図り、歳出の抑制に努めることで経常収支比率(合計)の低下につなげていく。

# (4) -2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

埼玉県狭山市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



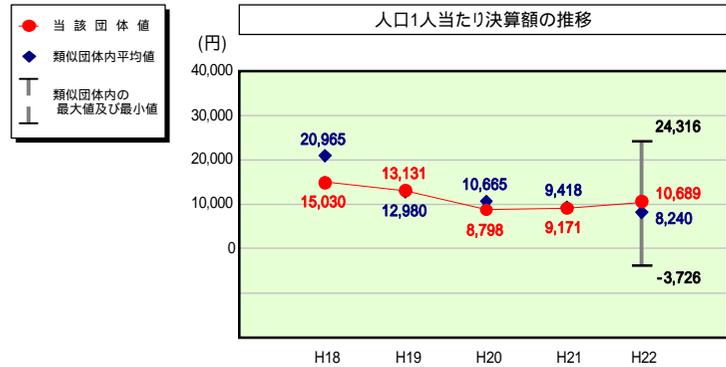
## 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	10,101,245	65,192	60,102	8.5
賃金(物件費)	484,060	3,124	3,185	1.9
一部事務組合負担金(補助費等)	9,012	58	1,037	94.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	747	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	314,949	2,033	2,314	12.1
事業費支分に係る職員の人件費(投資的経費)	204,837	1,322	974	35.7
退職金	1,208,455	7,799	7,461	4.5
合計	9,905,648	63,930	60,899	5.0

## 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.45	5.81	0.64
ラスパイレス指数	100.2	101.3	1.1

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

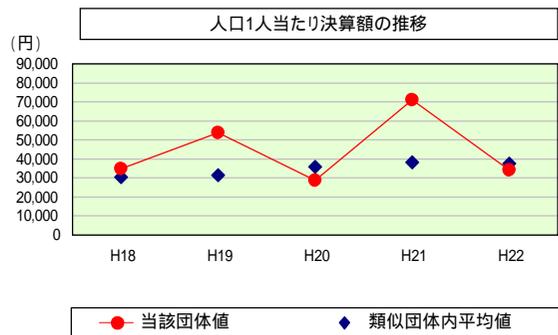


## 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3,813,444	24,611	26,746	8.0
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	34	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	80	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	614,026	3,963	6,520	39.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	-	-	1,370	-
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	967,651	6,245	2,352	165.5
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	8	-
特定財源の額	589,213	3,803	8,765	56.6
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	3,149,704	20,328	20,105	1.1
合計	1,656,204	10,689	8,240	29.7

平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

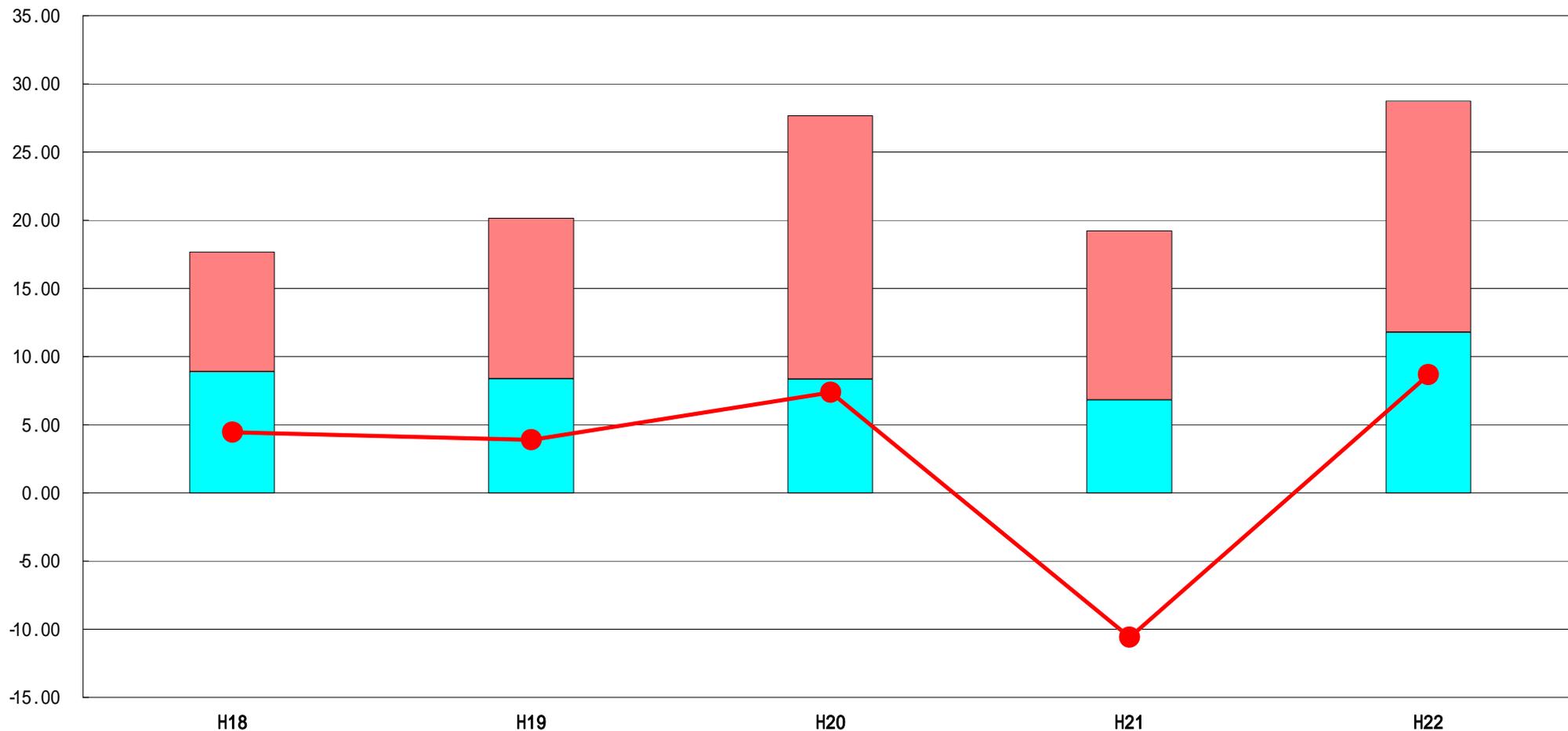
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H18	5,449,111	34,704	5.0	30,496	6.8	11.8
うち単独分	3,355,108	21,368	10.6	20,327	12.1	1.5
H19	8,409,651	53,631	54.5	31,404	3.0	51.5
うち単独分	6,516,030	41,554	94.5	20,611	1.4	93.1
H20	4,491,672	28,787	46.3	35,872	14.2	60.5
うち単独分	2,570,279	16,473	60.4	21,259	3.1	63.5
H21	11,024,076	70,946	146.5	38,349	6.9	139.6
うち単独分	4,849,789	31,211	89.5	22,585	6.2	83.3
H22	5,282,423	34,092	51.9	37,688	1.7	50.2
うち単独分	4,084,220	26,359	15.5	22,661	0.3	15.8
過去5年間平均	6,931,387	44,432	21.6	34,762	3.1	18.5
うち単独分	4,275,085	27,393	19.5	21,489	0.2	19.7

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

平成22年度

埼玉県狭山市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H18	H19	H20	H21	H22
 財政調整基金残高		8.79	11.78	19.34	12.38	16.96
 実質収支額		8.89	8.36	8.34	6.83	11.77
 実質単年度収支		4.46	3.89	7.37	10.59	8.65

**分析欄**

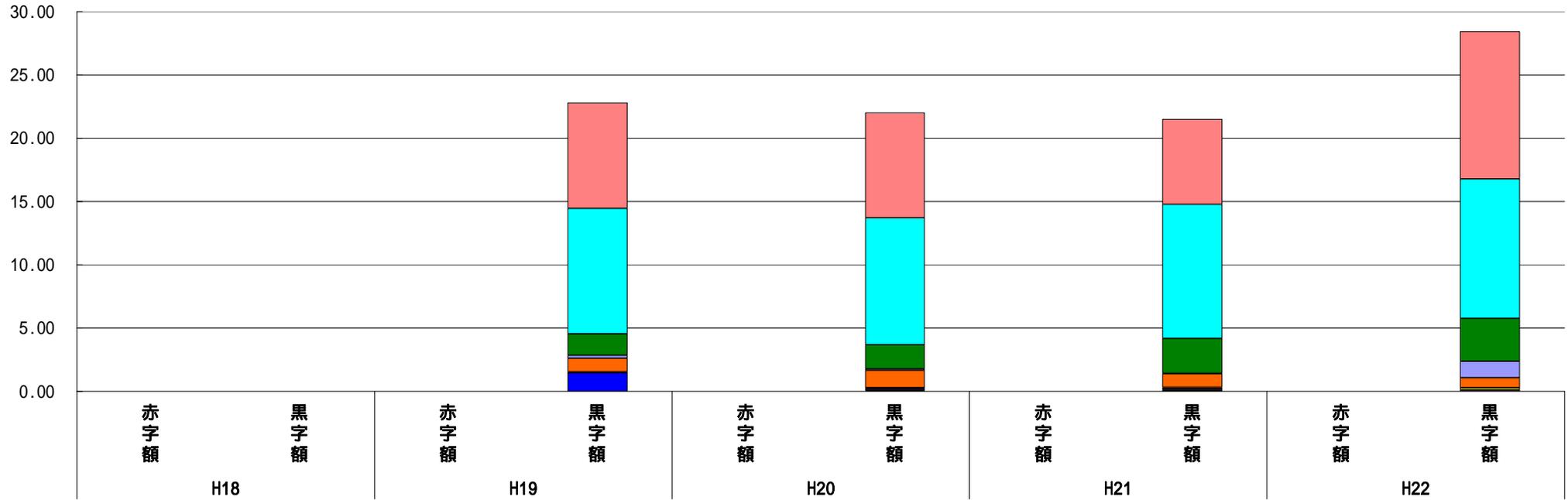
前年度と比較し財政調整基金の残高が増加し、大規模事業の償還完済、狭山市駅西口周辺整備事業に係る歳出の減少等により、前年度と比較し標準財政規模に対する実質収支額、実質単年度収支の比率がともに増加傾向となった。  
これは従来から取り組む行政改革や職員の意識改革による効果、税収の持ち直し、歳出の抑制等の要因によるものであり、今後についても引き続き安定した財政運営に努める。

# (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成22年度

埼玉県狭山市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

会計	年度	H18	H19	H20	H21	H22
一般会計		-	8.33	8.29	6.76	11.63
水道事業会計		-	9.93	10.05	10.59	11.05
国民健康保険特別会計		-	1.69	1.88	2.74	3.36
下水道事業特別会計		-	0.24	0.14	0.04	1.30
介護保険特別会計		-	1.04	1.38	1.08	0.80
狭山市駅東口土地区画整理事業特別会計		-	0.02	0.06	0.07	0.14
後期高齢者医療特別会計		-	-	0.12	0.13	0.13
上広瀬土地区画整理事業特別会計		-	0.07	0.05	0.06	0.00
その他会計(赤字)		-	-	-	-	-
その他会計(黒字)		-	1.46	0.03	0.04	0.00

## 分析欄

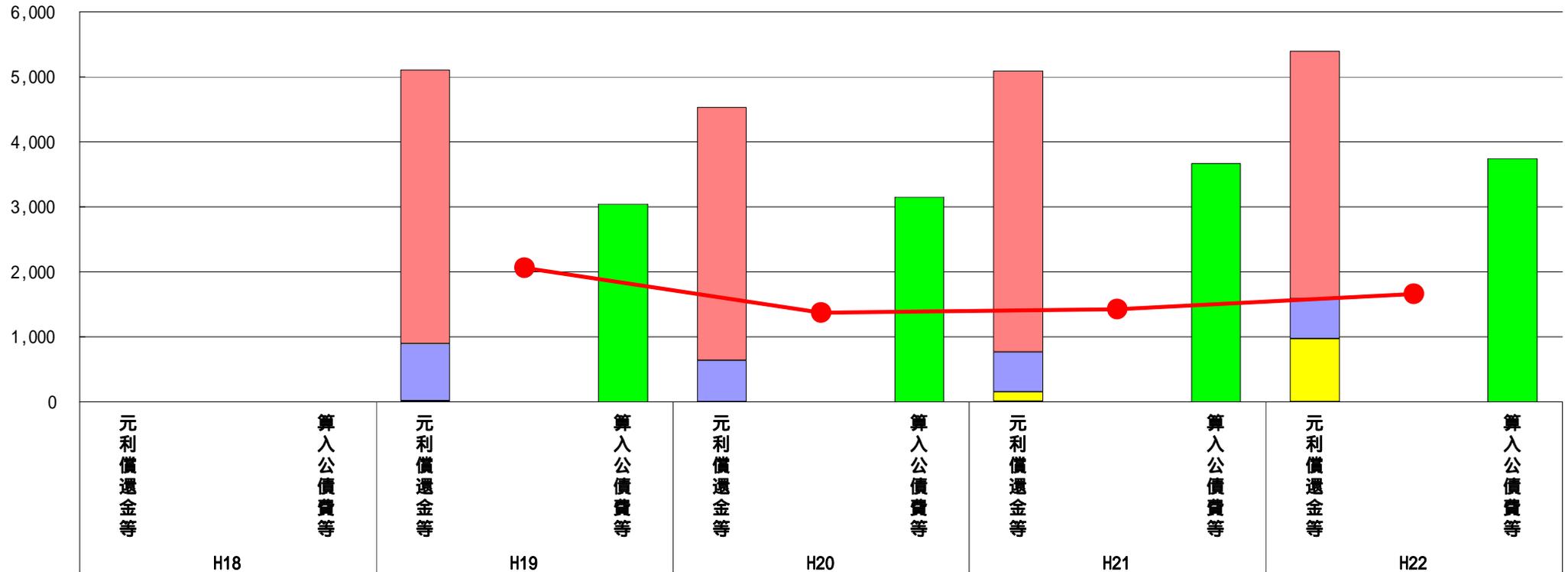
連結実質赤字比率に係る黒字額のうち、一般会計における黒字額の増加が顕著であるが、その要因としては標準財政規模に対する一般会計の余剰額が増加したためである。今後においても収入の確保と内部経費の削減に努める。

# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

埼玉県狭山市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等(A)	元利償還金	-	-	4,211	3,896	4,328	3,813
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	-	884	631	610	614
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額	-	-	7	-	145	968
	一時借入金利息	-	-	5	2	8	-
算入公債費等(B)	算入公債費等	-	-	3,047	3,155	3,665	3,739
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	-	2,060	1,374	1,426	1,656

## 分析欄

過去の大規模事業に係る償還の完済等の結果、元利償還金は前年度より減少したものの、土地開発公社より先行取得していた土地の買戻しにより、債務負担行為に基づく支出額は一時的に増加し、総体的には増額となっている。  
 今後は、大規模事業に係る新規借入が見込まれるが、引き続き起債対象事業の適切な選択に留意しつつ世代間負担の公平化と償還額の平準化を図り、財政の健全性を確保する。

平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

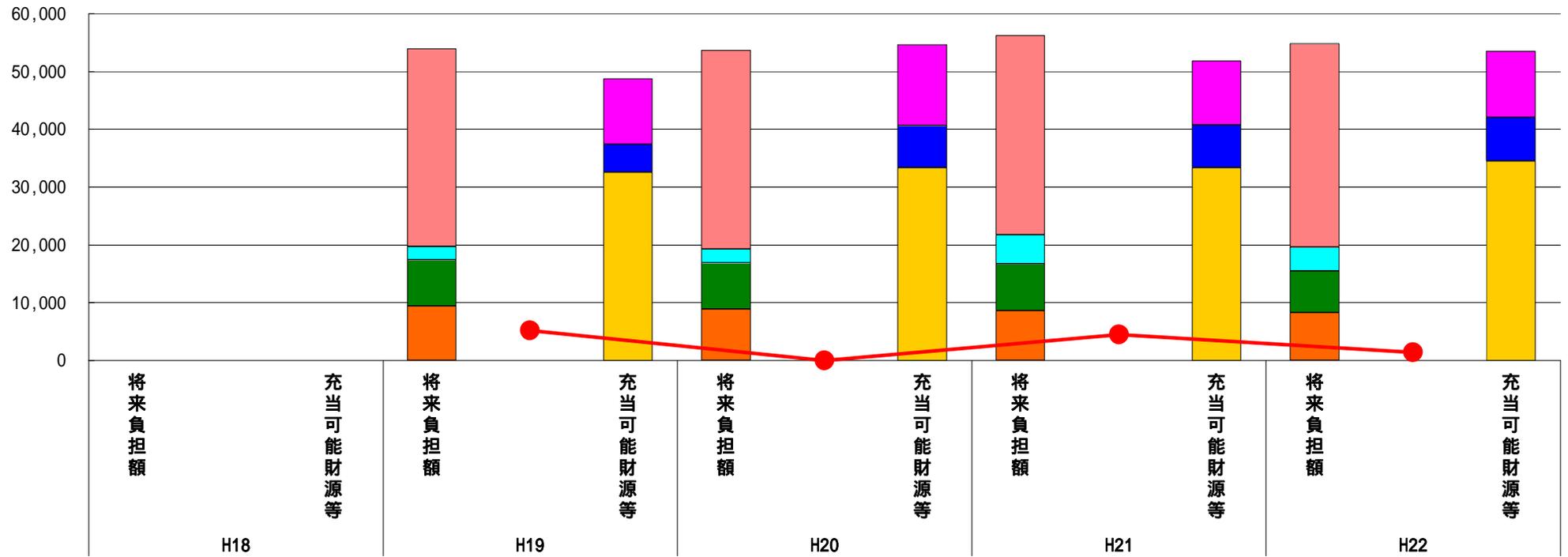
平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (8) 将来負担比率(分子)の構造(市町村)

平成22年度

埼玉県狭山市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額(A)	一般会計に係る地方債の現在高		-	34,217	34,439	34,492	35,207
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	2,322	2,333	5,029	4,121
	公営企業債等繰入見込額		-	8,042	8,024	8,065	7,249
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		-	9,365	8,862	8,634	8,247
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	16	30	30	8
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金		-	11,323	13,962	11,057	11,355
	充当可能特定歳入		-	4,889	7,381	7,430	7,609
	基準財政需要額算入見込額		-	32,545	33,307	33,308	34,486
(A) - (B)	将来負担比率の分子		-	5,205	964	4,456	1,381

## 分析欄

前年度と比較し債務負担行為に基づく支出予定額や公営企業債等繰入見込み額などの減少により将来負担額が約14億円の減額、さらに充当可能財源が約17億円増加したことにより歳出の分子としては全体で31億円減少した。  
 建設事業債の減少と臨時財政対策債の活用も主な要因となっている。  
 今後は大規模事業にかかる地方債等が将来負担額に算入され、比率の上昇が予想されるが、事業の見直し等を行い、適切な財政運営に努める。

平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。